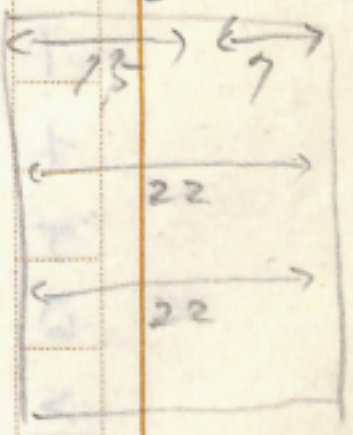


おま  
598

オモテ  
タイ

私の処女詩集



3/2

私の処女詩集は百貨店で  
 一九六七年七月一日、思潮社刊、定価七百円、イ  
 ボン・ブラバールさんの跋文が付いている。  
 三九歳のときであった。それより十年前、一  
 九五七年一月に、ブラバールさんの『詩の  
 心理学』を訳出、ユリイカ社より出版し、土  
 橋治重さん時代の『日本未来派』の人たちに  
 出版記念会をやっていた。ただ、この詩集  
 としてはこちらが最初である。  
 他のところでもうなるん度も指摘しているが、  
 あのころは詩歴に乏しい若手ばかり、パンフレ  
 ット程度のものである。一人前の詩集  
 と一人前の出版社から出すことは憚られる  
 雰囲気があった。恐る恐る当時の編集長田村  
 昌由さんに相談したら、ああ、いいよ、受け